

突張り間仕切カーテンポールワイド

取り付け幅：約160cm～280cm
 取り付け高さ範囲：約190cm～264cm
 耐荷重：6kg

品番 **TNP-6** 取り扱い説明書

- 組み立て・ご使用に際しましては、下記の説明書をよくお読みください。
- 注意事項は必ずお守りください。
- 説明書は必要な時に確認が出来るように大切に保管してください。
- 安全に組み立て・設置していただくために、2人以上で作業を行なってください。

△組み立て前のご注意

- 本製品は、ねじ・釘を使わずに支柱を天井と床に強力に圧着して取り付けますので下地のしっかりしている所に付けてください。やむをえず弱い所に取り付ける場合は、破損を防ぐため、あらかじめ市販の木板などで補強してください。和室天井の場合は、特にご注意ください。耐荷重は、天井・床の状態、取り付け方によって異なる場合があります。
- 傾斜した天井、床面には取り付けないでください。転倒の原因になります。
- 火気や熱源のそばには、取り付けないでください。

△組み立て上の注意事項

- 組み立ては、十分広い場所で行ってください。また、床などにキズが付かないようにあて布をして行ってください。
- パイプ端面には直接手をふれないでください。ケガの恐れがあります。(手袋の着用をおすすめいたします。)
- 改造や分解は危険ですのでしないでください。
- 圧着固定式ですので、ねじ類はしっかり締め付けてください。弱いと本体の転倒やカーテン部分が落下する原因になります。

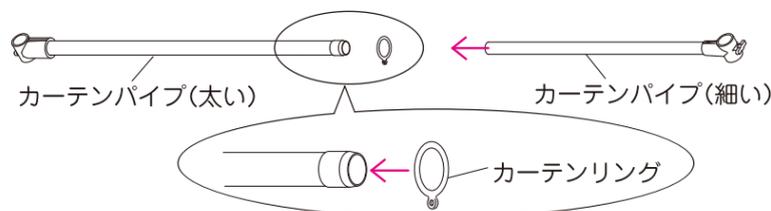
部品表 ○組み立て前に部品がそろっているか確認してください。

<p>下パイプ 長さ固定ねじ (先端部がキリ状ですのでご注意ください。)</p> <p>グリップ</p> <p>ストップスリーブ (長さ固定ねじ付き)</p> <p>上パイプ</p>	縦支柱 2 セット		カーテンリング 24 個
			カーテンパイプ(太い) 1本
			カーテンパイプ(細い) 1本

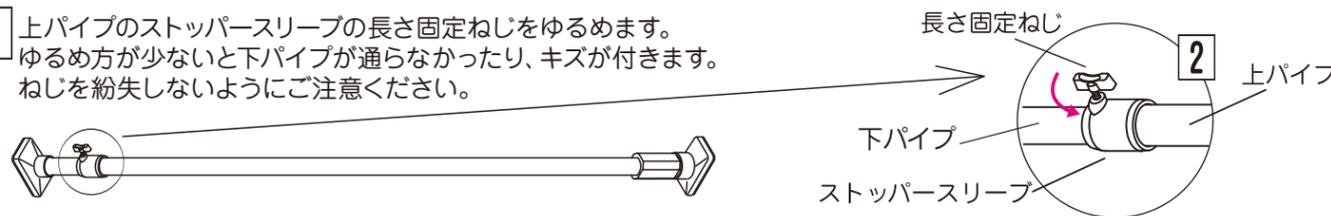
組み立て方法

1 カーテンパイプの組み立て

右図のようにカーテンパイプ(太い)の片端部から「取り付けされるカーテンのフック数と同じ数量のカーテンリング」を通し、カーテンパイプ(細い)を適当な位置まで差し込みます。

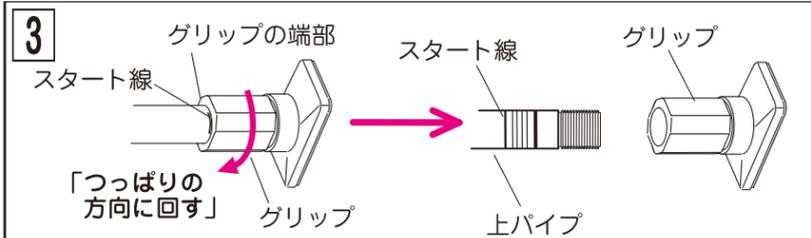


2 上パイプのストップスリーブの長さ固定ねじをゆるめます。ゆるめ方が少ないと下パイプが通らなかつたり、キズが付きます。ねじを紛失しないようご注意ください。

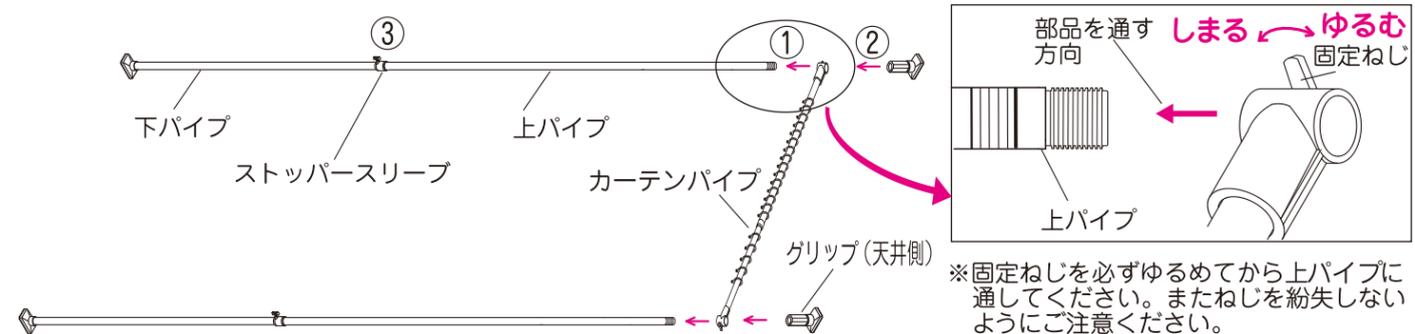


3 上パイプのグリップをはずす。

グリップを「つっぱり」の表示方向に回し、上パイプからはずします。(はずしたグリップを紛失しないようご注意ください。)



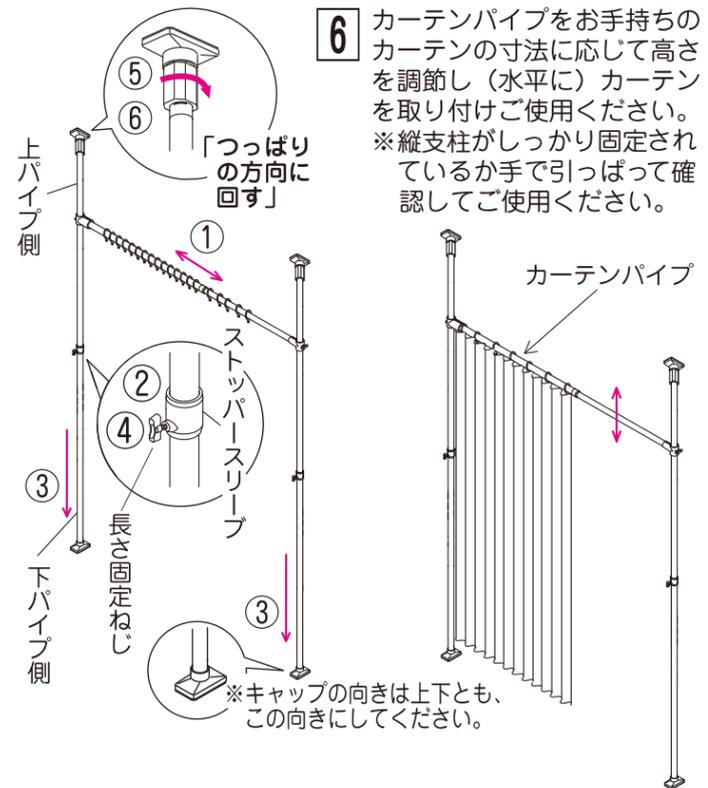
- 4 下図のように床面上に縦支柱と、カーテンパイプをならべます。
- ①カーテンパイプの両端の固定ねじを上パイプが通るまでゆるめてカーテンパイプを上パイプに通します。この時、固定ねじのゆるめ方が少ないと上パイプが通らなかつたり、キズが付きます。
 - ②グリップを上パイプに取り付けます。グリップを「ゆるむ」の方向へ回し、グリップの端部をおよそスタート線の位置まで戻します。戻し過ぎないように注意してください！(グリップの端部とスタート線の位置は手順③の図を参照)
 - ③上パイプのストップスリーブの長さ固定ねじがゆるんでいるか再確認してから下パイプを引き出します。2本の縦支柱を同じ長さに設定しておきます。(注意：縦支柱全体の長さは天井高さより短めにしておきます。) 上パイプのストップスリーブの長さ固定ねじを下パイプがズレ落ちない程度に仮り締めします。



- 5 ④で組みあがった製品を取り付け場所に立てます。(注意：移動させる際、下パイプが抜けないように注意してください。)

- ①使用する幅に(カーテンパイプの幅)調節します。
- ②ストップスリーブの長さ固定ねじを一旦ゆるめます。(注意：下パイプの急激な落下に注意してください)
- ③上下のキャップの向きに注意し、取り付けの天地間いっぱい(上・下キャップ両端がしっかり天井と床に付くまで押し付ける感覚で)に下パイプを引き出します。
- ④ストップスリーブの長さ固定ねじを根元付近までしっかり締め付けます。パイプに穴があいて長さが固定されます。縦支柱2本共、同じ作業を行ないます。
- ⑤上部のグリップを「つっぱり」の方向に回し、縦支柱が倒れない程度に仮圧着固定します。この段階で縦支柱が垂直になるように調整します。
- ⑥取り付け面を破損しないように状態を確認しながら上部のグリップを「つっぱり」の方向に回していき、縦支柱が倒れないように、しっかり圧着固定します。

注意：「ストップ線」の表示を超える場合は取り付け方法に誤りがあるか取り付け場所に適していないことがあります。再確認し、手順5からやり直してください。
 注意：圧着固定をする際、支柱パイプと一緒に回ると適正な圧着固定が出来ませんので、パイプを支えてグリップを回してください。



△使用上の注意事項

- 耐荷重は測定値で、保証値ではありません。また、天井・床の状態・取り付け方によっては低くなる場合があります。急激に荷重をかけると破損や転倒の原因になります。火気のそばや、就寝場所のそばには設置しないでください。
- 小さいお子様が遊ぶ部屋などには取り付けしないでください。
- 表示の取り付け寸法、耐荷重の範囲内でご使用ください。
- 室内カーテン掛けとしてご使用ください。また直射日光の当たる所、高温、多湿な所での使用は変形、変色、破損、サビの原因になります。
- 取り付け2～3日後、圧着状態を確認し、弱いときは圧着力を増してください。定期的に点検してください。(1か月に2回程度)
- 支柱を強く引っばったり、カーテンをむやみに引っばるなどの行為は転倒の原因になり危険ですので十分注意してください。
- 汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。たわし、磨き粉で磨くと傷が付きます。
- 消臭剤、芳香剤、整髪料、酸性またはアルカリ性洗剤、油脂、またベンジン、シンナーなど有機溶剤の付着は変質劣化の原因になります。
- 天災などの不可抗力や、不当な使用・改造等による故障・破損などに対する補償等はいたしかねます。

※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたら、お手数ですが左記連絡先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
 ※予告なく仕様及び外観を変更する場合がありますのでご了承ください。

材質表示
 パイプ…鉄製・エポキシ樹脂粉体塗装
 樹脂部品…ABS樹脂・PE樹脂・PP樹脂・合成ゴム
 ねじ類…鉄製・メッキ仕上げ
 092616P MADE IN CHINA